

テーマ:光(と色)

池袋第五保育園(豊島区)

テーマを設定する

昨年度、色をテーマにすくわくのワークショップを体験し、年間を通して、色への興味や探求を続けてきた。そこで、子供たちはより色鮮やかな色への関心や、光を通じた色への関心が強くなる様子が見られた為。

活動 アーティストワークショップ1~4

身体遊びや音遊びも取り入れつつ、「光」を当ててできる影や色で遊ぶワークショップを実施。ある絵本をモチーフに、身体の影で海の生き物を表現したり、海の生き物の形にカットしたカラフルシートに光を当て、部屋中に泳がせたりした。光で遊んだ内容を構成&外部講師がストーリーテラーとなり、3・5歳児へ向けて劇仕立ての発表を行った。

環境をデザインする

●準備物 白布、スタンド、投光器、懐中電灯、子供たちが事前に制作したカラフルシート(セロハンをラミネート&海の生き物の形にカット)、楽器(スチールパン、トーンチャイム、オーシャンドラムなど)、大きな半透明ビニル、絵本、遮光用ビニルほか

探究活動を実践する

●活動内容(1日目)

1. 絵本の読み聞かせ(生演奏つき)
2. 使用した楽器の紹介の後、自由に楽器に触れ、鳴らす
3. 講師の叩く太鼓の音に合わせて動いたり、海の中の生き物を身体で表現したりする
4. 身体の影で海の生き物クイズ
6. 事前に制作したカラフルシート(海の生き物の形)に懐中電灯の光を当て、部屋中を泳がせる
7. 大きな白ビニルでつくったトンネルの中を冒険するように歩行。ビニルに懐中電灯の光を当てて反射させたり、カラフルセロハンの影を写したりする

※2日目は、2グループに分かれて身体の影と楽器の音を合わせてみたり、白ビニルを海流に見立てたりして海の世界での光遊びを続行。3日目はこれまでの光遊びを思い出し、最後に3、5歳児を招待して劇仕立ての発表を行った。4日目は同テーマに基づき別内容で造形ワークショップを実施。

●子供たちの様子

- ・カラフルセロハンに光を当ててできた影同士を重ねていた。
- ・影をきれいに写すために、カラフルセロハンに壁に近づけたり離したり試していた。
- ・海の生き物の形をしたカラフルシートの影に出会い、挨拶をしていた。
- ・発表会という特別な雰囲気の中、子供たちが共に心を合わせて乗り越える姿があった。

活動スケジュール(4歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① アーティストワークショップ1 講師：佐藤円(演出家・俳優)他1名	R7.11.14 (金)	60分程度	20人
② アーティストワークショップ2 講師：佐藤円(演出家・俳優)他1名	R7.11.19 (水)	60分程度	20人
③ アーティストワークショップ3 講師：佐藤円(演出家・俳優)他1名	R7.11.28 (金)	60分程度	20人
④ 光と色をテーマにした表現遊びを、発表会の劇ごっこで披露した	12月13日 (土)	25分程度	19人
⑤ アーティストワークショップ4 講師：水内貴英(美術家)	R7.12.23 (火)	60分程度	21人



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

- ・色々な素材との出会いがあり、子供たちがすごく楽しそうだったことが印象的。子供たちの想像力は無限大だと感じた。
- ・光にすかしたり、光を当てる角度を色々試したりしていた。海の中の物語の世界や、身体を使った表現も、普段見られない姿を引き出してくれたと思う。
- ・楽器への興味が高かったことが意外で、新たな発見だった。
- ・人前で発表することが達成感にもつながり、今後、子供たちが自発的に取り組んでいくきっかけにもなったのではないと思う。